

中医的に早発卵巣不全の説明と治療法

早発卵巣不全(POF: premature ovarian failure、POI: premature ovarian insufficiency)

早発卵巣不全(POF)は一般に 40 歳未満で月経がこなくなる疾患。早発閉経ともいわれる。女性においては、思春期に卵巣機能を含む生殖能が確立されて成人期に至る。しかし、年齢とともに卵巣内の原始卵胞は双指数関数的に減少し、卵巣機能は低下する。卵巣機能の終結をもって閉経となり、特に 40 歳未満では早発閉経と診断される。しかし、非可逆的であるはずの早発「閉経」でも、診断の後に排卵のみならず妊娠・出産に至る例が稀にある。明らかな「閉経」でない限り、hypergonadotropic hypogonadism を呈する。40 歳未満の無月経は、早発卵巣不全 [primary ovarian insufficiency (POI) / premature ovarian failure (POF)] として取り扱うのが望ましい。女性ホルモンが出ていない状態が続いているということで、それともなつて不妊・精神不安定・骨粗鬆症・心筋梗塞・脳梗塞といった病気が増加することがある。30 歳未満の女性の 0.1%、40 歳未満の女性の 1%にみられ、無月経の原因の約 10%をしめる。卵子は胎児期に卵巣でつくられますが、その後新たにつくられることはありません。出生時には約 200 万個ありますが、その後徐々に減少し、約 50 歳で 1000 個以下となり閉経するといわれている。医学できに、「早発卵巣不全」の多くは原因不明だ。原因の明らかなものは 1~2 割程度で、遺伝性、自己免疫疾患（甲状腺疾患、糖尿病、全身性エリテマトーデス、関節リウマチなど）、医原性（卵巣手術、放射線治療、化学療法、免疫抑制剤）などがある。早発卵巣不全の治療には、ホルモン値を回復させるホルモン補充療法（HRT）が一般的だ。プロゲステロンやエストロゲンの量が増えると生理の周期が元に戻るだけでなく、長期的には心臓疾患や痴呆の予防にもつながると考えられている。不妊治療については、卵子提供による体外受精が最も効果的だ。

病因病機

漢方医学の文献には「卵巣早期衰弱」という病名の記載がなく、発病の特徴によって「閉経」「不妊」「血枯れ」「無子」「続断」などの範疇に属する。『素問・上古天真論』によると、「女は七歳……七七任脈虚、太冲脈衰少、天癸尽きる、地下道不通、故形壞而无子也」（現代語訳）

「女性は、7 歳で腎気が盛んになり、歯が生えかわり髪が長くなる。

14 歳（7×2。以下 7 の倍数で増えます。）で、天癸が至り任脈と太衝脈が盛んになり、月経

が始まり、妊娠が可能になる。

21 歳で、腎気が充満し、智歯が成長し、身体の丈も伸びきる。

28 歳で、筋骨はしっかりして、髪のはびも極まる。この時期は身体が最も強壯です。

35 歳で、陽明脈が次第に衰え、顔面部がやつれはじめ、髪も抜け始める。

42 歳で、3 陽脈は全て衰えるので、顔面部はやつれて、頭髪も白くなる。

49 歳で、任脈は空虚になり、太衝の脈は衰え、天癸が竭きて、月経が停止する。それゆえ身体は老い衰え、再び子供を産むことはできない。」

とあるように、女性生理の自然な盛衰変化は、腎気の盛衰変化とリンクしていることだ。しかし、早発卵巢不全の病機は一つの臓腑と経絡から総括することができない。呉克明教授は POF の発病は肝腎虚損と関係があると考え「血を貯めておく肝の働き、生殖器に深く関係する腎の働きが低下しているため、衝脈・任脈にも栄養分が行きわたらなくなること。」江曉婧氏は、POF に対して、大切な関係が脾胃と考え。脾胃をあわせて「後天の本、気血生化の源」と言う。脾胃の協力により水穀は精微（栄養物質）になり、気血津液と化し、全身を滋養する。脾胃は虚弱であり、血液不足であり、血液の海は適時に充満できないと考えている。

張岩は夏往成教授の経験を総括し、心腎不交が POF の主要な病機であることを得た。

朱玲は長期の臨床研究により、情志と生活要素は早発卵巢不全の主な発病原因であり、腎精損虚肝郁血虚はその重要な発病機序の特徴であり。

金志春は本疾患の多くは腎虚血鬱を発病原因とすることを提出した。

呂秀花の考え方、POF の病機は腎虚を本とし、心、肝、脾の臓器機能の不調を影響し、腎臓－天癸－冲任胞宮軸を乱れさせた。

漢方の内服治療法

1 弁証論治

老中医蔡松岩先生は POF を腎精損虚と気滞血鬱の 2 種類に分類し、臨床では補腎填精、活血理気を治療原則とすることが多い。

韓延華教授は老中医韓百靈先生の「肝腎同源」理論を用いて、POF を腎虚精損、肝腎陰虚と気虚血鬱の三つ病証に大別し、治療について、補腎益精、滋養肝腎、化血解鬱を主とする。

韓氷教授は POF が腎虚－衝任失調を主として考え、臨床では滋補腎陰、補腎疎肝、補腎健脾を治療方法とする。

尤昭玲教授は治療経験により、POF を肝腎陰虚型、腎虚肝郁型、心腎不交型に分け、臨床では滋補腎陰、疎肝健脾、滋腎寧心などの薬物で治療することが多い。

胡国华教授なら、陰と陽に分類し、POF を腎の陰虚と陽虚、に分ける一腎陰虚類は陰虚肝郁、陰虚火旺を含み。陽虚類は陽虚血鬱、陽虚脾虚を含み、治療については補腎陰疎肝、滋補腎陰降火、温陽補虚化鬱及び温陽補虚調脾の 4 種類である。

まとめて

POF は大きく 6 種類の主要な症状型に分け、腎精不足、肝腎不足、衝任不調、心腎不交、腎虚脾虚及び腎虚肝郁血鬱などであり、治療には補腎填精、滋補肝腎、補腎調冲、交通心腎、補腎健脾及び補腎疎肝化鬱法がよく応用されている。

2.臨床研究治療

陈丽霞などは补肾健脾の方向を出発し、選抜患者 92 例を F S H が水準別の高い、E 2 低いお采ランダム分布、治療組と対照組に分け：

治療組を补肾健脾汤剂経口治療する。対照組をホルモン代替療法治療する。

結果；治療組は F S H と L H が低下して、対照組より低い。E 2 が高くなって、対照組より高い。

刘日红は 88 例 POF 患者を選抜して、治療組と対照組に分けられる。そして対照組が H R T 療法で治療する。治療組を H R T 連合漢方薬治療(自制补益肝腎)。3 周期が終わった時、治療組の総治療有効率は 93.18%であった。王雅紅は 120 例の POF 患者を 2 組に分けた。対照組は経口激素治療、治療組は自分製補腎清心湯治療を行った。結果；治療組の総治療有効率が高い。

3.処方加減治療

张鸿雁は二仙湯加減.処方を利用して、腎虚肝鬱型卵巣早期衰弱閉経患者を治療する。選抜 75 例の患者、治療組と対照組に分けられる。治療組を二仙湯加減処方で治療する、そして対照組を六味地黄丸と逍遥丸で治療する。結果；二仙湯加減処方で治療した患者、生理が来る患者数が多い。

金玲は 60 例痰濁内阻型 POF 患者を選抜して、二つ組に分けられる、30 人が温胆湯で治療する。30 人がホルモン療法で治療する。温胆湯なら治療効果がホルモン療法より良い。

韩利は帰腎丸加減で POF 患者が治療する。3 ヶ月後、臨床症状とホルモン水準著しく改善。

张艳は一貫煎で POF を治療して、卵胞が上手く成長した。

葛盛は肝鬱腎虚型 POF 患者を選抜して、対照組と観察組に分かれ、ホルモン療法で治療す

る。観察組には逍遥散を加えた。結果：逍遥散と一緒に治療したら、効率が高くなる。

4 漢方既製品治療

張凱は 120 例の POF 患者を治療群と対照群に分け、治療群は坤泰カプセル（成分：熟地黄、黄连、白芍、黄芩、阿胶、茯苓治療を行い、対照群は Compound Estradiol Valerate Tabletsd で治療を行い、治療 3 ヶ月後、治療群の生理が回復した。ホルモンバランスも良くなる。

邓学妹は 60 人の POF 患者を集め、治療群と対照群に分けて 1 組 30 例。対照群はホルモン剤だけを服用する治療法。治療群にはホルモン剤と坤靈丸（成分一香附(制)、益母草、

红花、鸡冠花、地黄、麦冬、白芍(酒炒)、黄芪、肉苁蓉(制)、茯苓、厚朴、白朮(炒)

等 17 味。(二)香附(制)、阿胶、红参、当归、鹿角胶、龟甲胶、牡丹皮、川芎、延胡索、

砂仁、没药(炒)、小茴香(盐制)等 15 味) 一緒に治療を受けた。結果；ホルモン剤と坤靈丸一緒に治療なら効果が良い。

黄晋などはマウスモデル試験で研究して、仙子益真カプセル（成分：熟地、菟丝子、鸡血藤等…）は POF マウスの生殖内分泌環境を改善できることを示した。

5 膏方療法

王婧[は 110 例の POF 患者を 2 群に分け、対照群がホルモン代替療法(HRT)で治療する。治療群は HRT プラス補腎調経膏方治療を行った。結果:治療群の治療総有効率は対照群より明らかに高く、再発率は対照群より明らかに低かった。

侯立強は 80 例の POF 患者を選び、治療群と対照群に分けた。対照群は六味地黄丸を内服し、治療群は育方を内服した。育方療法なら有効率が高い。

6 中医周期療法

嚴霞と潘永は POF 患者を選び、二つのグループに分けて、対照組は、ホルモン療法を行った。観察組はホルモン療法の上で、漢方周期療法を行った。結果：観察組患者なら子宮内膜の厚さが対照組より良い。

李翠萍教授は补肾治療から考えて、月経の後、血海が空虚なので、補腎養血の漢方で治療する。月経の前、血海の余裕、温補腎臓、行気の漢方で治療する。

外部治療法

1 鍼灸療法

範玉江、史牽馨は 24 例の POF 患者を選び、中医の弁証理論から考え、POF を腎精損虚、腎虚肝鬱、脾腎陽虚に分け、関元、中極、大赫、子宮、腎兪及び胸 5~腰 4 で脊柱穴を挟むことを主穴とした。弁証置針し、毎回 30 分、3 ヶ月鍼灸治療の総有効率は 87.5%であった。王飛は 30 例の POF 患者を選び、神庭、本神、百会、育兪、陰交、関元、足三里、三陰交、太溪、太冲、上膠、腎兪を針刺した。毎回 25min 置針し、計 6 ヶ月後の総有効率は 86.67%であり、月経の総回潮率は 56.67%であり、月経回復の効果がある。

李蘭榮は 60 例の POF 患者を選択し、治療群と対照群に分け、それぞれ 30 例に分け、対照群は調経一号方を服用した。治療組は「張氏腹三針」(取穴:関元、水道)針刺治療、隔日治療 1 回。両群とも 3 ヶ月を 1 クールとした。結果:対照群の有効率は 80.00%、治療群の有効率は 93.33%、2 群の FSH と E2 レベルは治療前より改善したが、治療群のほうが顕著であった。

2 温鍼灸法

李得平[361] 等人将 30 例肾阳虚型 POF 患者随机分为治疗组和对照组,每组各 15 人。穴位的选择两组一致,治疗组的患者用温针灸法,对照组的患者在治疗组的基础上加 TDP 灯照射,一周治疗 3 次,1 个月为 1 个疗程。治疗 4 个月后,治疗组有效率为 93.3%,对照组有效率为 80.0%。

李得平は 30 例腎陽虚型 POF 患者を治療群と対照群に分け、ツボなら全て一緒に、治療群の患者が温灸法で治療する。対照群患者の治療には TDP 理学療法、週 3 回。通院治療を 4 ヶ月後、治療群の効率は 93.3%、対照群の効率は 80.0%。

内外結合療法

葉金力、邢天伶は自ら作成した清心健脾湯と耳穴圧丸法の連合による卵巣の早期衰弱を治療し、70 例の POF 患者を観察群と対照群に分け、各 35 例であった。2 群は耳穴圧丸を配合し、観察群は清心健脾湯処方内服し、対照群は坤泰カプセルを内服し、治療 3 ヶ月後、観察群の総有効率は 83.3%で、対照群より 16.6%高かった。

曹静、丁は 62 例腎陽虚型 POF 患者を治療群と対照群に分けて鍼灸治療する。治療群鍼灸治+羊藿巴戟口服液(成分；淫羊藿、熟地黄、巴戟天、山茱萸、石燕(火煨)、海马、狗鞭、蛤蚧、蛇床子、大海米、砂仁、锁阳、九香虫、雄蚕蛾。)

結果：治療群の総有効率は 96.7%、対照群の総有効率は 82.2%

滕秀香などは 60 例 POF 患者を治療群と対照群に分けて毓麟湯(人参、白朮(土炒)、茯苓、芍药(酒炒)各 60 克、川芎、炙甘草各 30 克、当归、熟地(蒸、搗)、菟丝子(制)各 120 克、杜仲(酒炒)、鹿角霜、川椒各 60 克)で治療する。治療群なら +鍼灸治療。結果：治療群の総効率は 60.00%、対照群の総効率は 36.67%

補助療法

1 情志療法

張雲は早期卵巣不全を治療する時に適切な疎肝、清肝或いは柔肝の品を加え、相応情志療法と結合し、有効に患者の臨床症状を改善することができる。

2 薬膳療法

張玉珍教授は漢方薬などの治療する時、よく食事療法を推薦し、例えば:アワビ肉、ナマコ、当归生姜羊肉湯、鹿胎育、シシャモのパパイヤ煮などと一緒に治療する。

郭月季は二仙湯と羊肉湯を併用し、30 例の POF 患者を治療した。3 ヶ月の周期を経た後、症状は徹底的に改善され、治療効果は満足的である。

結語

近年、早発卵巣不全の発病率はずっと上昇の傾向にあり、ますます多くの人の関心を引き起こした。研究によると、中医学と西洋医学は早発卵巣不全を治療する効果は顕著であるがしかし、西洋医学の治療は乳癌、子宮内膜癌、血栓類の疾病例えば:冠状動脈性心臓病、脳卒中などの病気のリスクを増加させ、応用する人の群れは局限性がある。西洋医学の治療と比べ、漢方医学の治療は副作用が極めて小さく、受益群は広範であり、しかも症状に従って加減できるため、弁証治療に有利である。更に重要なのは漢方医学の独特な思想「未病先防」の理念を応用し、POF の発生を予防し、早期に卵巣機能を強化し、病気の確率を下げる目的を達成できる。